



## インフレーションに伴う新しい企業の現実

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

これらは企業が自己防衛へ、社会性における奉仕との訣別を自己の生き残りにおいて選択することを強制される現実が存在するのである。これらはシビアな新しい企業社会における現実を表すものである。

他方においてはグローバリゼーションという潮流が、企業の存続への厳しさと新しい現実の受け入れを要求するものである。これらはコロナ禍における企業環境の大幅な変化が、底辺において存在するのである。

これらは生き残りと高い利益性の確保という企業要求がグローバル市場における新しい基準とルールとして存在するものである。

これらはコアコンピタンスの構築が、先端性とシステム技術における新しい市場の占有を形成し、これらは自由貿易システムにおいて高い利益構築を企業に与えるものである。

これら高い山々は、現実における唯一の企業参加の条件なのである。これら基準における企業構築が唯一未来という現実への参加を可能とするのである。

これらは明らかに企業環境の革命的变化が終了したことであり、他方においては経済戦争の終結が存在するのである。

これら新しい企業基準をクリアし新しい市場へ参加することは全ての企業の必題である。

競争原理は、競争における勝者が、先端 MBA システムと開発基盤において、さらなる未来の創造を提案するのである。

これらはマクロ経済における購買という現実が、絶対的な社会の2分化を将来において、与えることを予測させる。

これらが現在のインフレにおける新しい現実であることは疑いがないのである。これらは競争原理における終結が、勝者における新しい経済システムの構築を提案するものと考えられる。